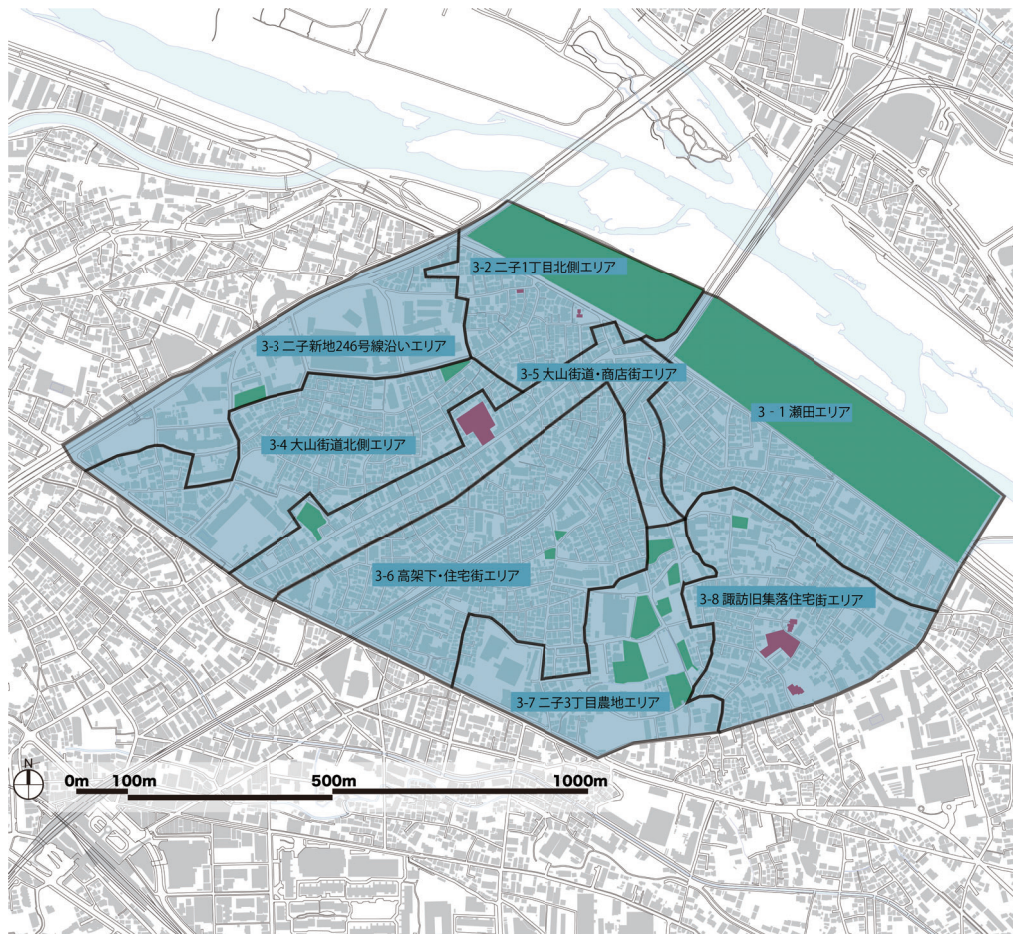
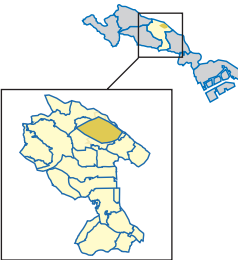


3 二子新地地区

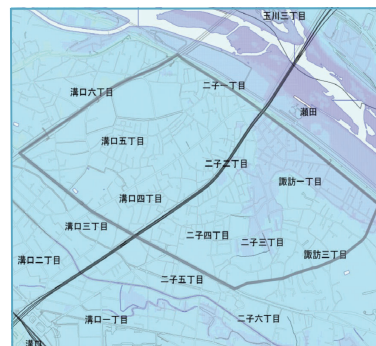
二子新地は神奈川県川崎市高津区の北側に位置し、大正時代以来、「二子(ふたご)」という地名になりました。また、かつてこの地域は、「待合」「料亭」「置屋」の三つの生業で成り立つ三業地と呼ばれており、この三つを併せ持つ場所である花街を意味する「新地」を加えて、この地名になったと言われています。この地域は、用途的な視線で、バイパス、大山街道から染み出す住宅街、農村跡地、川沿い住宅街の大きく四つに分けられ、それをさらに景観的な特性で八つに細分化されます。



- 3-1 瀬田エリア**
密集した住宅街を多摩川と繋がりを持たせた空間形成を目指す
- 3-2 二子1丁目北側エリア**
住宅地と歴史資源の調和した景観を形成する
- 3-3 二子新地246号線沿いエリア**
歴史的な道路を活かした緑のある景観を形成
- 3-4 大山街道北側エリア**
多摩川によって形成される街並みと自然を感じる景観をつくる
- 3-5 大山街道・商店街エリア**
地形や歴史資源がもたらす景観の多様性を保全する
- 3-6 高架下・住宅街エリア**
密集する住宅地とは異なる側面を持つ景観形成
- 3-7 二子3丁目農地エリア**
農地としての歴史を意識し、みどり豊かな景観を保全する
- 3-8 諏訪旧集落住宅街エリア**
旧道と路地空間を活かした住宅地の形成

地区の概要

起伏の少ない地形



二子新地地区の地形

平坦な土地

本エリアは多摩川の広大な氾濫低地となっており平坦面に走る東急田園都市線の高架を中心に住宅が密集しています。起伏が少なく平坦な地域となっているので住宅系土地利用の割合が高くなっています。

多摩川沿いの低地

標高図を見ると、多摩川沿いはわずかに標高が高くなっています。また、その高低差の境界には、二子新地駅前商店街や川崎市高津区スポーツセンターが位置しています。

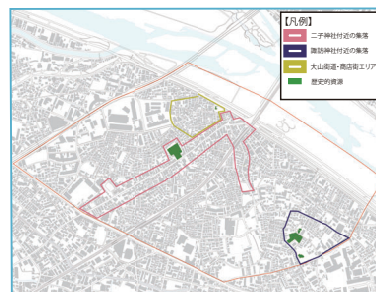


【3-6 高架下・住宅街エリア】
高架を中心とした住宅街



【3-5 大山街道・商店街エリア】
僅かな標高差の境目

まちの記憶



二子新地の街路形成史

今も残る旧集落の面影

本地域には集落が存在しています。その中心となるのが二子神社と諏訪神社です。これらの歴史的資源を中心に周辺の住宅地が形成されています。現在も神社を中心にして建っている住宅が見てとれ、旧集落の面影が残されています。



【3-8 諏訪旧集落住宅街エリア】
集落の中心となる神社

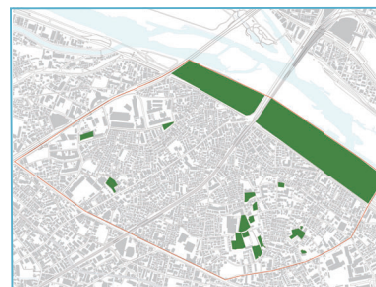
江戸から続く大山街道の歴史

江戸時代に輸送路として人々と物資が大山街道に連なる商店街に往来することによって、文化や情報が行き交っていました。現在も歴史的資源が大山街道に点在しており、旧街道に息づく歴史を感じる景観を形成しています。



【3-5 大山街道・商店街エリア】
歴史的資源が点在している商店街

水と緑



緑被現況分布図

住宅街と農地のみどり

戸建ての住宅街や団地の周辺には植栽が植えられています。また元々農地であった二子3丁目では、果樹園が多くまとまったみどりの景観が見られます。



【3-7 二子3丁目農地エリア】
住宅のみどりと梨園のみどり

多摩川と河川敷

河川敷には、諏訪いこいの広場をはじめ、多摩川緑地バーベキュー広場、少年野球場、サッカー場、ソフトボール場、ハイキングコースなど多摩川の自然環境を傍らに活動できる空間が広がっています。地元住民の憩いの場となり、豊かな自然が育まれる地となっています。



【3-1 瀬田エリア】
川沿いのみどり